

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

令和3年10月6日

①学校名:	金城大学短期大学部		②所在地:	石川県白山市笠間町1200			
③課程名:	保護者支援力養成コース		④正規課程／履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	2022/5/1	
⑥責任者:	幼児教育学科長 太田淳子		⑦定員:	20名	⑧期間:	1年間	
⑨申請する課程の目的・概要:	保育者の大切な業務の一つに保護者支援がある。近年家庭における教育観の多様化や教育力の低下、外国にルーツを持つ子どもの保護者や発達の遅れや特別な支援が必要な子どもを持つ保護者の対応等様々な課題が生じている。子どもの健全な成長のためには、子どもを保育することと同じく、支援が必要な保護者を支援することが重要である。そのため、保育・教育現場では多様な支援に対応できる専門性の高い保護者支援力が求められている。 本プログラムは保育士等キャリアアップ研修での「保護者支援・子育て支援」の研修に対応し、保護者支援力を高めたい保育者(幼稚園教諭・保育士・保育教諭)に社会人向けの実践的・専門的な教育プログラムを提供する。さらに、保育・教育現場で他の保育者に保護者支援・子育て支援に関する適切な助言・指導ができる指導力も育成する。						
⑩4テーマへの該当の有無	女性活躍	⑪履修資格:	・学校教育法第90条に規定する大学に入学することができる者で幼稚園教諭免許または保育士資格を取得している者				
⑫対象とする職業の種類:	保育士、幼稚園教諭、保育教諭						
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) ・多様な支援に対応できる専門性の高い保護者支援力			(得られる能力) ・保護者の心理を理解し、寄り添える能力「キャリアアップ(保護者支援・子育て支援)、ピアヘルパー資格取得を目指す」 ・外国にルーツを持つ子どもの保護者を理解し、対応できる能力 ・発達の遅れや特別な支援が必要な子どもの保護者への支援力			
⑭教育課程:	保護者の心理を理解し、寄り添える能力を得るために、「保護者支援・子育て支援」「教育相談」「子ども家庭支援の心理学」の科目を学ぶ。「保護者支援・子育て支援」の科目においては、保護者支援・子育て支援の意義、保護者に対する相談援助、地域における子育て支援、虐待予防、関係機関との連携、地域資源の活用について学ぶ。「教育相談」は、教育相談の基礎理論を学ぶとともに、ピアヘルパーの資格取得を目指す。「子ども家庭支援の心理学」では、子どもの発達から保護者の心理を学び、実際の現場での活用方法を学ぶ。 「保護者支援技術演習」では、乳児の保護者、外国にルーツを持つ子どもの保護者、発達の遅れや特別な支援が必要な子どもの保護者を支援するため、子どもの発達、外国の文化・教育システム等の理論や施設見学、保護者との交流を行い、知識から実践に繋げる学びを行う。「保護者支援研究」では、保護者支援技術演習での学びを元に、グループ討議、プレゼンテーション、自己省察などを通して保護者支援力を養成し、保育現場で他の保育者に保護者支援・子育て支援に関する適切な助言・指導ができる指導力を得ることができる教育課程となっている。						
⑮修了要件(修了授業時間数等):	教育課程の全科目を履修し合格すること(修了授業時間数:63時間)						
⑯修了時に付与される学位・資格等:	職業実践力育成プログラム履修証明書を交付する。						
⑰総授業時数:	63	時間	⑱要件該当授業時数:	63時間	該当要件 企業等 双方向 実務家 実地	⑲要件該当授業時数 ／総授業時数:	100%

②⑩成績評価の方法:	テスト及び提出課題、プレゼンテーション等によって成績を総合的に評価する。
②⑪自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。また、受講生に授業アンケートを実施すると共に、今回学んだ保護者支援力を現場に還元するために今後の活用計画を提出してもらい、結果を自己点検・評価室に報告のうえ検証評価を行う。
②⑫修了者の状況に係る効果検証の方法:	修了者や修了者の就業先から、就業状況や保護者支援の実践力についての聞き取り調査を実施し、プログラムの効果を検証する。
②⑬企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) ・連携機関(幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園等)の担当者から、教育課程の編成について意見交換を行い、検討を行う。 (自己点検・評価) ・②⑪の授業アンケート結果の分析にあたり、上記の聴取した意見を踏まえた分析を行う。
②⑭社会人が受講しやすい工夫:	土曜日開講、Webでの授業(ZOOMを使用したオンライン)
②⑮ホームページ:	(URL) 本学HPに掲載 (https://www.kinjo.ac.jp/kjc/about/practical_skill_program.html)

事務担当者名:	北島 正英	所属部署:	総務企画部 地域連携・貢献センター
連絡先:	(電話番号) (E-mail)	076-276-4411 chiiki@kinjo.ac.jp	

* パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。

* 様式に記載いただいた内容と欄外の「※集計用データ(文部科学省使用)」に記載の内容が、一致しているかを必ずご確認ください。